



三箇小学校



全力で走った

最後の運動会

つなまら

No.175

2009.7.20 July

6月定例議会 6/16～18

条例の改正・補正予算	②
議会人事	④
臨時議会	⑤
一般質問	⑥
委員会レポート	⑪
シリーズ 私もひと言	⑫

津南原小学校

21年度一般会計補正予算(2号)

◎歳入		◎歳出	
負担金	520万円	議会費	△112万円
国県支出金	2億4,012万円	総務費	533万円
繰入金	96万円	民生費	△49万円
繰越金	3,106万円	衛生費	1,109万円
諸収入	341万円	労働費	△865万円
		農林水産業費	3,953万円
		商工費	3,011万円
		土木費	1,397万円
		消防費	213万円
		教育費	370万円
		諸支出金	4,515万円

景気対策に伴う地域活性化・経済危機対策臨時交付金の増額に係る大幅な補正予算(2億8,075万円)の増額で総額60億7,075万円)が審議され全員賛成で可決された。

主な補正の内容

- ◎総務費
 - ・役場前に身体障害者用トイレ設置工事
 - ・地域公共交通体系対応マイクロボスの購入

- ◎農林水産業費
 - ・結束石垣田復旧工事
 - ・定住促進空き家改修工事(3棟)

- ◎消防費
 - ・新型インフルエンザ対応消耗品の購入

- ◎土木費
 - ・町道改良舗装事業

- ◎教育費
 - ・電子黒板付デジタルビデオ他購入(各小・中学校)
 - ・文化センターのエレベーター設置

- ◎諸支出金
 - ・クアハウス津南温泉権利取得



念願のエレベーターが設置される文化センター



身障者用公衆トイレが整備される役場前

条例の改正・制定・きまったこと

平成21年度第2回定例会が6月16日～18日までの会期で開催されました。前議長の辞職に伴う議長選挙が実施され、条例改正、監査委員の同意、平成21年度補正予算を審議し原案どおり可決しました。

◆魚沼地域胃腸集団検診協議会規約の変更

(説明) 副会長選任方法の変更(全員賛成)

◆津南町広報無線管理運営基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について

(説明) 広報無線の更新に伴う基金の廃止(全員賛成)

◆津南町簡易水道及び小規模水道条例の一部を改正する条例の制定について

(説明) 外丸地区他の給水区域の変更に伴う条例改正(全員賛成)

◆財産の取得について

(説明) 学校教職員用パソコンの購入(全員賛成)

◆監査委員の選任同意について

(説明) 高橋満男氏の逝去に伴い欠員となった監査委員に、大口武氏が全員賛成で選任された。

21年度特別会計 補正予算

◎国民健康保険会計

補正額 50万円
総額 10億3,406万円
(主な内容) 健康づくり事業消耗品購入他の増額

◎老人保健会計

補正額 396万円
総額 469万円
(主な内容) 前年度精算負担金増に伴う償還金

◎下水道事業会計

補正額 320万円
総額 4億9,259万円
(主な内容) 住宅新築に伴う管渠工事の増

◎病院事業会計

補正額 1,085万円
総額 19億8,554万円
(主な内容) 各種修繕費の増額

臨時議会開催

平成21年5月28日

議案第1号
議案第2号
発議案第1号

津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
津南町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
津南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 町職員組合との話し合いがあったのか、組合はどのように考えているのか把握しているか。
総務課長 人事院勧告であり給与や勤務条件の改定をする時は話し

合いをもつという事になっていく。自治労本部、町職員労組連名の要望書はもっているが、町職員労組としてはやむを得ないということを得ている。
質疑 臨時人事院勧告ということ

※発議案
議員自らが議案を作成し議案に提案すること

町長 5月1日暫定的な特例措置として臨時に人事院勧告が行われ、国家公務員の平成21年6月期の期末・勤勉手当を暫定的に引き下げることとされている。人事院勧告尊重の基本姿勢から、本町の給与条例の改正を行なうものである。
質疑 津南町職員の給与は県内でも、ピリから一、二番という非常に低いわけですが、それを更に減額するということについて、どう考えているのか。
総務課長 人事院勧告を尊重するということを前から申し上げている。県内の市町村状況を見ますと、粟島浦村が正式勧告が出た時点で12月に調整するという状況であるが、他の市町村は全部0.2月削減を予定している。その中で魚沼市は0.27月、湯沢町は0.2月、既に独自削減を行なっているため条例改定はしない。あとの市町村は全て減額を暫定措置で行いたいという予定になっている。民間企業についても厳しい実態があるので、当然全国的にも引き下げがほとんどの市町村で行なわれるのではないかと

思う。
質疑 町職員組合との話し合いがあったのか、組合はどのように考えているのか把握しているか。
総務課長 人事院勧告であり給与や勤務条件の改定をする時は話し

合いをもつという事になっていく。自治労本部、町職員労組連名の要望書はもっているが、町職員労組としてはやむを得ないということを得ている。
質疑 臨時人事院勧告ということ

副町長 民間の今の厳しい現下の経済情勢、あるいは賃金状況から見るとこの地域でも役場職員、いわゆる公務員については給与水準でレベルが高いということは一般的にいえると思うし、住民感情からしてもこの厳しい中で今回の処置については当然の処置であろうというふうには職員も認識しているのではないかと思っている。ただ基本的な地域の給与水準というものと比較して、公務員の給与のあり方についてはいろいろ議論もあるが、やはり公務員というのは労働基本権が制約されている中で、人事院勧告を基に給与体系というものが長年とられている。特に公務員の場合は公僕であり、常に住民のために働くのが大前提になっているので、先憂後楽の精神発露

する中で住民サービス、町の発展につくすという意味からもある程度安定した給与体系の中でしっかりと仕事をしていたら、このように求められているので理解いただきたい。
賛成 11名、反対 2名
※先憂後楽
天下の人々に先んじて憂い、天下の人々に後れて楽しむという為政者の心構えを言った昔の中国の人の言葉

※発議案
議員自らが議案を作成し議案に提案すること

新議長に吉野徹氏

第2回津南町議会定例議会(16日)に於いて議長選挙が行われ、吉野徹氏が選任されました。



吉野 徹

議長就任挨拶

この度、高橋満男前議長のご逝去、そして藤ノ木現議長の突然の辞任に伴い、6月定例会にて議長に就任させて頂きました。お二人の町政に対する想いを引き継ぎ、任務を遂行して参る所存であります。

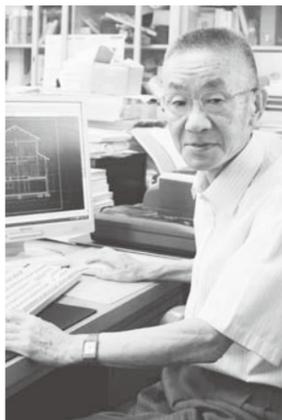
政治・経済・社会が不透明な中、自律推進計画の見直し、地域公共交通の一部実施、テレビ難視聴地域の解消対策、町民提案事業の実施を始めとする、福祉保健医療の見直し、農林・商工・建設・教育など様々な問題に対して対処しなければと思えます。

いつ、どんな時でも私達は、住民の幸せを第一に考えるべき立場であり、不偏不党公平無私を旨とし、言論の府として正しき議会運営で議員一丸となり、町民の声を心で受け止め「賢明な思考での慎重な行動」この様な姿勢で議会活動を進めてまいります。

高橋満男 前議長 逝去

前議長の高橋満男議員は、去る6月6日町立津南病院にて78歳の生涯を全うされました。

議会を代表して大口武議員が六月議会開会前に、次のように弔意を述べました。「故人は、昭和54年津南町議会議員に初当選、以来通算6期21年間在職されました。この間平成7年から同19年の12年間の長きにわたり議長職を勤められました。平成17年から2年11ヶ月の間、新潟県町村議連会長、同19年には全国町村議長会副会長及び全国過疎地域自立促進連盟監事を歴任し、全国に津南町議会人として広く活躍をいただきました。ここに長い議会人としての功績を讃え、心よりご冥福をお祈り申し上げます。」



お元気だった頃の高橋満男議員

藤ノ木富有 議長 議員辞職

去る6月11日藤ノ木富有議長が「一身上の都合」を理由に議員辞職願を提出し、同日受理されました。

同氏は、4期連続13年7ヶ月議員として在職しました。平成19年11月から新潟県内初の女性議長として1年7ヶ月間、議会改革に積極的に取り組んでいた矢先、突然の議員辞職となりました。

議会運営委員長に 高橋孝男議員を選任

議会運営委員長吉野徹氏が新議長に就任したため、6月18日に議会運営委員会を開催し新しい議会運営委員長に高橋孝男氏を選任しました。

第二回議会報告会

日時	平成21年4月30日
場所	反り口
出席	12人
欠席	0人
合計	12人
日時	平成21年5月1日
場所	赤沢
出席	11人
欠席	0人
合計	11人
日時	平成21年5月1日
場所	鹿野
出席	15人
欠席	0人
合計	15人
日時	平成21年5月1日
場所	大井
出席	14人
欠席	0人
合計	14人
日時	平成21年5月1日
場所	谷内
出席	15人
欠席	0人
合計	15人
日時	平成21年5月1日
場所	大割野
出席	11人
欠席	0人
合計	11人
日時	平成20年6月19日
場所	辰ノ口
出席	15人
欠席	0人
合計	15人
日時	平成20年6月19日
場所	船山
出席	11人
欠席	0人
合計	11人
日時	平成20年6月19日
場所	米原
出席	14人
欠席	0人
合計	14人
日時	平成20年6月19日
場所	十二ノ木
出席	13人
欠席	0人
合計	13人

第一回議会報告会

昨年、今年と二回議会報告会を開催させていただきました。住民の方々のご参加、大変ありがとうございました。住民の方々のご参加、大変ありがとうございました。住民の方々のご参加、大変ありがとうございました。住民の方々のご参加、大変ありがとうございました。

次回議会報告会は皆さんの皆様方よりご参集いただけるよう内容の濃いものにし、と考えております。

新十日町病院の建設促進を

高橋孝男 議員

町長：十日町市長と連携を密にしてい

新十日町病院を 県立県営で早期に

家3戸にも予算付けをした。

問 十日町病院は地域中核病院として、早期に新築と設備の充実、医師の確保（津南病院に有利）、町長は議会と同一行動がとれないか。

町長 津南病院との関係等様々な角度から検討したい。近々十日町市長と相談し、連携を深めながら取り組みたい。



整備が待たれる中津川運動公園

定住人口増のための 施策について

中津川運動公園の 復旧工事について

問 人口増のための方策はと考

え、独自に5事業所の全従業員571名の方に、無記名による調査。町外からの勤務者160名の内、好条件であれば津南に住宅建設希望者11名であった。これは一部ですが他にも方法あり、町の住宅施策は。

町長 事業所の住宅対策は民間の賃貸住宅を基本とするが、住宅団地の用地を造成し対応したい。空

問 運動公園の整備と復旧工事は特に、排水対策とゲートボール場の新設、トラック、テニスコート、トイレ、休憩所の充実が必要。

町長 これらについて、スポーツ振興協議会と早急に協議を進めた

問 県立小出養護学校の分校が川西高校に22年度開設。津南からの通学生徒数と通学方法について。

町長 生徒数は現在明確でない。通学方法は家族や関係機関と協議して決めたい。

藤木正喜 議員

町公有財産の今後必要な修繕費等は

町長：大規模な修繕がないよう保守管理を実施

建物など今後膨大な 維持費が必要であるが

問 平成19年のバランスシートでは資産が187億円とあるが、このうち建物など139億円であり昭和46年建設の総合センターから平成16

年なじよも今までで106件の構築物があり、所得金額の合計は121億8,037万円である。築後30年が経過すると大規模な保全費用と修繕費用が必要であるが試算しているのか。また残存価格の低い物件、耐用年数をむかえる建物の今後の更新、取り壊し、譲渡などはどの様に考えているのか。

町長 平成19年度決算では役場保全管理及び修繕費の合計は1,768万円、学校など公有財産の保全管理及

び修繕費の合計は5,499万円であり、合わせて7,267万円となっている。

また19の建物施設は利用者がいれば賃貸借・譲渡など考えているが、利用者がいなければ取り壊しの選択もありえる。



老朽化が目立つ築後38年の総合センター

藤ノ木浩子 議員

教育費の保護者負担の軽減を

教育長：国家的政策の中で対応を

憲法26条の義務教育 無償化へ

問 若い子育て世代は、子供の教育費負担に悩み、やりくりが大変な状況である。文科省が行った「子供の学習費調査」では、公立小学校の学校教育費が年平均総額で約33万円、中学で約47万円にもなっている。日本は教育機関への公費財政支出が対GDP比でOECD加盟36カ国の平均より低い34%、公費を削り教育費を個人負担にし、世界一高額の国となっている。義務教育は憲法第26条で「無償」とうたわれているにもかかわらず、ほど遠い現状だ。義務教育は無償の原則をどうお考えか。

教育長 26条の無償規定は国の責任で義務教育は行わなければならないとする崇高な規定である。わが国は授業料の不徴収に順じ、教育費を無償供与すべきであると考えられてきたが、現実の学校教育の中では、教科書以外にも多くの経費がかかっているのは指摘の通りだ。どこまでの範囲を無償にすべ



様々な教材を使い勉強する子供たち

きか、県、市町村教育委員会が個別の判断をしているが、対応を大きく変える考えはない。

問 教育費の実態をご存知か。小学校一年生は国語の教科書以外に6冊、算数で3冊、道徳副読本も全学年が購入。中学生は3年間で57種類83冊の教材類を購入している。これらは親が選択する余地のないもので自己負担となっている。教育費の公費負担を検討頂きたい。

教育長 教育費の軽減を個別市町村に求められても大変な課題だ。国家的政策の中でしっかりと位置づけ、対応を願う。

福原照男 議員

飯山線全線開通80周年

町長：川口・十日町間運行を津南駅まで要望

具体的取り組みとして！

問 津南・十日町障害福祉関係機関連絡調整会議はどのような協議機関なのか。

町長 役場、市役所、社会福祉協議会、全ての生涯福祉サービス事業所、養護学校・精神科病院等で構成され、四つの専門部会がある。

- ①教育進路部会
 - ②就学作業部会
 - ③居住日中活動部会
 - ④退院促進部会
- として協議し具体的に取り組んでいる。

問 複合型グループホームの設置予定はないか。
福祉保健課長 前向きに検討してみたい。

特別支援学級と 教員増配の考えは！

問 全国的に増え続ける学習障害(LD)、多動性障害(ADHD)者等町内の実数と特別支援学級の開設状況はどうなっているか。

町長 専門機関で診断を受けた園児9名と診断外で何らかの傾向者20名となっている。

教育長 特別支援学級小中各1学級4名、通学学級小20名中4名在籍、21年度発達障害地域指導教室を開設、週1回専任教師により9名の児童が指導を受けている。

飯山線利用促進を

問 飯山線沿線地域活性化協議会、町域域公共交通協議会での取り組みは。

町長 路線バスとの連絡関係改善によるJRの利用客増、津南中等教育学校生徒増に伴う、川口駅発津南駅までの列車運行をJR側に要望している。



是非飯山線のご利用を

滝沢茂光議員

山菜を地域振興に活用を

町長：山菜は不足している

山菜バンクを設け 地域振興券で買い上げを

問 今年も既にアスパラの盗伐が発生している様だが警察の取り組みで県外からの悪質な入山者は減少してきている。このタイミングを捉え山菜を地域振興券で買い上げ町内商工業者に活力を与える事業とし、豊かな山菜資源を有する過疎に悩む山間集落には明るい未来を約束できると考える。又高速道路料金値下げ等で移動人口も期待される。町外からの入山者を阻止すれば山菜の町内調達増大につながるかと考えるがどのように考えるか。

地域振興課長 町として山菜については入山をお断りすることが難しい。又入山者の可否の色分けが困難である。



津南野菜と並ぶわらび

く思っているが、同じように入山者に対応できないか。

地域振興課長 地域で取り組むならば町としても協力したい。又予算のつき具合もあるが地域の皆さんと協議してまいりたい。

問 地域内で取り組むのにもなかなか協議が進まない部分もあるの行政として音頭をとっていただき進めて欲しい。

地域振興課長 地域の皆さんとどう取り組むかこれから検討したい。

大平謙一議員

町中央地区水不足解消せよ

町長：食料自給権は生存権そのもの

正面地区は自然流水が なく防災にも問題がある

問 船津川の水不足は開発など、人間の手によって自然が変えられた為によるものであり解消にはダム造り等が必要である。また、ダムが無理なら、正面水路への増水を行い船津川に放水すべきだ。

町長 正面については灌漑期には土地改良区や関係受益者と調整を図るなかで下流に余剰水を多く流せるように図って来た。

問 東京電力と水利権交渉し牛首よりの増水はできないか。春は雪解け水で中津川は増水し水は余っている。

町長 東京電力とは長年交渉してきている。平成10年には穴藤ダムより毎秒1トンの増水をさせた。

副町長 正面ヶ原水路の農家負担軽減と引き換えに正面への水路の多目的利用を土地改良に認めてもらった。



水のない正面地域

限界集落への支援 早急にすべきだ

問 日本国土の7割を占める農村の支援、町の対策は。

町長 水源の郷連絡協議会が立ち上った。165市町村と協議連携し地域の条件にあった集落再生の取組をする。

近年津南は出生数が 激減しているが対策は

問 全国的な問題であるが、思い切った対策が必要。18歳まで医療費、学費など全額町負担にできないか。

町長 町は医療費小学校卒業まで助成し、不妊治療や妊婦健診の助成を行なっている。

根津勝幸議員

養護学校への通学手段はどのような

町長：保護者、関係者と相談する

関係機関の 一体感はあるのか

問 平成22年度に県立川西高校に開設される、養護学校高等部への通学手段は確保されるのか。又、町教育委員会、福祉保健課、社会福祉協議会は一体となって取り組んでいけるのか。

町長 通学手段、支援策等十日町市の状況を踏まえながら、NPOとの連携も出来るか出来ないかも含め、教育委員会、社会福祉協議会等協議の上、具体化して行く。

福祉保健課長 十日町市は業務委託で行っている。支援の方策として十日町方式もあり、保護者の送迎に支援を行うのも一つの方式である。又、町が車両購入し、人材確保をして行う方法や社会福祉協議会、福祉法人会等に委託も考えられる。保護者も含め3者、4者関係機関の間で協議する。

問 町教育委員会は高等部には直接関わらないかもしれないが、24年に中等部開設と聞く。教育委員会としての考えは。

教育長 中等部が開設されれば高等部も同じ学校に通うことになるので、負担の度合いの違いはあるが一緒に通うことがいいと思っている。

緊急時の無線連絡 手段は大丈夫か

問 集落において防災用無線を備えているところもあるが、出力数等により使える範囲が限定される。緊急災害時に備え、集落に又単位団体に貸し出しの出来るように高性能の無線が必要と考えるがいかがか。

町長 災害時等に対応する情報手段として固定系の防災行政無線はあるが、移動系無線は整備されていない。携帯電話等通じないケースもあるので災害時の対応改善に移動系無線の事業化に向けて取り組む。



無線は災害時の必須条件

半戸哲郎議員

中津川運動公園整備に十分な話し合いを

町長：できる限り関係者の意向を反映したい

スポーツ振興協議会を 中心として話し合いを

問 中津川運動公園復旧工事の完成はいつ頃か。

町長 トンネル完了年度で2年ないし3年後となる。

問 施設内容の検討はスポーツ振興協議会を中心として詳細な打合せを。

教育長 町としてもそのような考えで進めて行きたいと考えている。

問 県の補償工事以外の町単独工事にスポーツ振興基金を使用しないでいただきたい。

町長 色々な面で活用を考えていただきたい。基金は絶対使うべきでないという意見もあるが、できればあるべき施設の整備とあわせて一緒に検討いただきたい。

教育長 県の補償工事以外町の単独予算となる。財政担当と相談しながらこの基金の活用についてもスポーツ関係者と充分相談したい。

総合型地域スポーツ クラブの設立は

問 総合型地域スポーツクラブの設立は考えているか。

教育長 難しい問題であるが津南にあったスポーツクラブができるかどうか関係者と検討を進めて行きたい。

「なじよもん」の 入館料を無料に

問 入館料を無料にできないか。特に小中学生を。

教育長 入館料を納めている小中学生は極めて少ない。体験学習に参加する場合は材料費のみの負担となっている。影響は極めて少ないので入館料の見直しは考えていない。



「なじよもん」積極的な活用方法を

農地法改正は農業への影響が

町長：一般企業の借受は規制すべき

標準小作料の廃止で 混乱しないか

問 農地の所有、利用の権利を自ら耕作する者のみに認めるとする農地制度の原則を廃止し、「農地を効率的に利用」するならば、一般企業の利用を認めるとするもので既制度を根本から変えるものである。日本と津南の農業にどう影響するか。

町長 農家の努力不足で耕作放棄地が増加しているのではなく、農業の将来展望が見えず農産物の低価格が原因で、価格保障の論議が必要だ。町として地元企業の農業参入を進めたいが、工業用地への転用のためとか、企業の借受けは規制すべきと思うし、企業による農地所有は断固反対だ。

農委会長 食料供給力の向上のためとして転用の規制を強めながら所有から活用へとして企業の参入を容易にするためのものと思っっているが、企業に所有権は反対の立場だ。この改正が成立すればすぐ企業に所有権も認めることになる

とする論議もある。企業は不利な放棄地でなく、利用したい農地は一等地で担い手の農地の貸しはがしも起こり得る。

問 町は地元建設業に農業参入を進めた結果はどうか。

地域振興課長 一年以上も企業側の担当者で検討したが、企業として参入しても経営が成り立たないという結論だ。

問 標準小作料が廃止になると農家が混乱しないか。

農委会長 個人的な見解だが法律では廃止になっているが、町として標準的なものは作っておくべきと思っっている。



求められる地域のブランド化

請願

1件 賛成多数

農地法の「改正」に反対する請願

要旨 改正案では賃借契約 期間が50年もの長きに亘ることは、財力がある大企業による優良農地への権利を固定するものとなり認定農家や集落営農の存在を脅かしかねないことからこれに反対する請願。

陳情

2件 全員賛成

最低賃金引き上げと中小企業対策の拡充を求める陳情

要旨 最低賃金を生活保障水準とし、誰もが最低限度の生活が出来る賃金が確立されること。政府は企業に対し、労働者の雇用維持と安定雇用の創出を求める陳情。

「非核日本宣言」を求める意見書採択についての陳情

要旨 国連本部で2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれる日本政府にはヒロシマ・ナガサキを体験した国として「非核三原則の厳守」をあらためて示すべきで非核平和都市宣言の趣旨にもとづき「非核日本宣言」を求める意見書の採択を求める陳情。

津南町議会が新潟県病院局に要望書提出

全員賛成

◎ 新十日町病院を津南・十日町地域の中核病院として建設されたい。

◎ 新十日町病院を県立・県営で早急に建替を願いたい。

◎ 高度医療の充実と救命・救急医療の機能強化を図りたい。

◎ 十日町病院等の協議会構成員に津南町を加えられたい。

◎ 津南病院に外科医師、産婦人科医師の更なる応援診療を願いたい。

委員会レポート

総文福祉常任委員会

出前スポーツ教室の開催

津南町体育指導委員会(江村博巳会長以下15人)と5月8日懇談会を持ち、活動の現状と今後の課題について懇談した。町内学校区で地域スポーツの推進を展開する指導員16人と推進員15人による、指導者の養成・確保に努めながら学社連携を図り、出前教室を通じたスポーツの普及と町民の健康体力づくりに汗している姿勢がうかがわれた。

今後も地域スポーツクラブの充実と町スポーツ振興協議会等との連携のもと町民各位への普及に一層努めていたきたい。

なじよもん関係者との懇談

5月28日、なじよもん縄文村竪穴住居を懇談会場として、教委次長、文化財班長、なじよもん友の会の皆様と現状と今後の課題について

懇談



懇談した。

なじよもんは開館5年目、友の会設立と自立、五感を通じた体験館として、内の顔・外の顔として利用されている。今年津南町が河岸段丘日本地形百選に指定され、都市と農村の架け橋となるよう努めている。

友の会では広い敷地活用と今年度も竪穴住居を1棟作り、宿泊利用としていく等、ボランティアとして活動している。最後に町民の訪問者が少なく体験実習館として、もっと気軽に訪れてほしい。

産業建設常任委員会

平成20年度国・県・町事業施工状況調査を、4月23日建設課長の案内で巡視した。

河川事業では石坂地内中津川4号床固工、反里口の中津川1号堤防、国道四〇五号反里口地内の道路改築、林野は清水川原の雪崩防止造林、大赤沢の地すべり防止、県道では清水川原での緊急地方法道路整備等、町単結束で辺地道路、中深見堂平線中深見地内、芦ヶ崎中央線雪崩予防ネット等の整備状況の確認を行った。





シリーズ・町民の声

私をひと言



「孫へ伝える事」

押付 風巻 美恵子 さん



私の苦手な事は掃除、きれいにしようとやり始めても捨てる事が出来なくて、又もとの場所へ。結果収納箱が増えて部屋が狭くなってしまふ、そんな繰り返し。

孫7人がどういふ訳か私のDNAをそっくりもらってきてしまい、どの子も整理整頓が出来ない。人から指摘される度に私は苦笑い、そんな孫たちの運動会に行つて来ました。

五月晴れにはほど遠い寒い日になってしまい、いつ雨が降つてきてもおかしくない天気。朝からお弁当15人分を（料理は好きなんです）娘たちと作つて母校でもある外丸小学校へ、200人近くいた児童も今は51

人、グラウンドが広く感じられました。でも少なければ少ないなりに子供・父兄はもちろん地域の方々や学校の先生中学生までも一緒に競技参加で大盛り上がり、ビデオやカメラもうちの子は何処という事がなく写せるんです。

都合をつけて見に行つたら、全員グラウンドの中央に集まつて綱引きの応援をしていたのにはびっくり、都会では考えられないいい事だねと感心してきました。

これからも人との繋がりの大切さを子供達にちゃんと教えて何か残せたらいいな、久しぶりに大声を出してすっきりして帰つてきました。

津南の顔

大割野 風巻 達男 さん



人は思うのですが、生活環境が違ふと短所に思つてしまうようです。

「雪国は、暗くて冬場は雪下ろしが大変だからこそ経験できない人たちがより逆境を跳ね返す強さがあるんじゃないんですか。だから津南人は粘り強い、暗さがあるから明るさを感じられる、これ程四季のはっきり体験できる津南はいいところなんですよ。」

そこで議員の皆様へ一言、言わせて下さい。

じいちゃん、ばあちゃん、お母さん、お父さん、子供たち、粘り強く一生懸命に生活している町民ですがこれからの津南を如何したらいいとか、こうして欲しい、こんなところが不便に感じているとかと思つていても上手く表現できない人が大半だと思います。

県外に出て生活してみると違った目線で見ると津南の良いところや、「これ、おかしいな」と思うことが多々ありました。その原因の一つに、人が良いから遠

慮したり自分の意見や提案を言えないでいるのかなと思います。

思つていてもなかなか言えない意見の中に問題の本質や解決の糸口になるものが隠されているのではないかと思ひ、以下のお願いをします。

津南をより良くするために町議になつた皆様へ再度、町民の小さな思いや、意見を足を引いて吸い上げて代表の意見として町政に生かしてください。

意見提案を待つていても言えない人からは聞かえてきません。少数意見では有りません。多数意見だと思います。津南町がより良く変革していくには、皆様が津南の顔となり代表としての責務を果たして下さい。

これから津南の経済情勢が好転するのにまだまだ時間を要すであろうし、問題、課題が山積みの現在ですが住みよい、良い町だと感じられる日が早く来るよう、津南の顔である議員の皆様のリリーディングに期待しています。

雪なし県の方から、「津南の評言に雪が少なれば良いところなの」と。この言葉を何度聞いたことか分りません。

そう言われた時、私が必ず返す話があります。「雪の降る音知っていますか？しんと深々と静かに、この言葉がそのまま雪の降る音なんです」と。この会話をしているとまず雪国の暗いイメージを連想するそうです。

雪下ろしや雪かきも雪国では生活の一部、日常の普通のことと住んでいる



卯ノ木での田植え体験

議会だよりの表紙を飾つてくれましたのが、来年3月をもって閉校となります、三箇小学校と津南原小学校の区民合同の大運動会です。昨年の今頃は学校の統合閉校の議論が各学区で行われましたが、最終的に議会で審議し2校が閉校となりました。

地域の学校がなくなる事について、ひとり一人の思ひは複雑なのでしょうが、走り出している姿を見るかぎり、皆さんが前向きに見えるのは私だけではないですよ。

感傷的になる必要はありませんが、津南町を背負つてくれる子供達に、私も大人は背筋の通つた背中を見せなくてはなりません。

でも現実には子供達から教へてもらふ方が多いように思ひます。固定観念にとらわれな

い若い世代に拍手です。(正)

編集後記